

令和6年度 第1回まつのやま学園運営協議会 会議録

□ 日 時 令和6年6月20日(木) 15:00~16:40

□ 会 場 まつのやま学園 多目的室

□ 進行: 柳教頭 記録: 市川教頭

□ 会議内容

1 開会のあいさつ (志賀会長)

2 協 議 (議長: 志賀会長)

(1) 学校運営協議会委員、地域コーディネーターの委嘱 (別紙参照)

- ・ まつのやま学園運営協議会規約について
- ・ 学園運営協議会組織について

(2) 学園経営方針について (寺澤学園長) ⇒ 承認

(3) 令和6年度のCSを活用した教育活動について

(4) その他

- ・ 学校運営協議会今後の予定
- ・ 謝礼、旅費等について

3 部会に分かれて熟議・意見交換等

[学園づくり部会]

○ 産業祭について (10月27日(日) 予定)

- ・ 今年から参加する、中学部のみが授業として参加し、ブースを出す。
- ・ おにぎり屋を出店予定
- ・ 主催者の松之山支所と連絡を取り合い計画する。
- ・ 他団体の出店を勘案し、8年生が考える。

○ いろいろな行事を通して地域と交流する。

- ・ 10月5日(土) ゆとり駅伝
- ・ 1月15日(水) 婿投げすみ塗り
- ・ 7月18日(木) PTA草刈りの案内

○ 子どもが卒業しても交流の機会あればと思う。

○ 誰が見て分かる学園の情報発信を工夫していく。

○ 少子化により、家族で松之山を離れることが心配される。地域の親子が松之山を離れない工夫が必要。

○ 学園は、雪里留学を推進する。そのための魅力を発信をする。

[学園教育充実部会]

○ 総合的な学習の時間「まつのやまタイム」について

- ・ 各学年でやっていることの共有
- ・ 今後のまつのやまタイムの在り方について
- ・ 隔年で畑をするのは手入れの関係でどうなのか。
- ・ 量のバランスを考えてやろうと考えている。
- ・ 対象(学年)を広げたりする。

- ・ ヤギを飼ってもらえると嬉しいと思う。
- 複式になることについて
 - ・ 似たようなことすると、複式にしたときに前年の経験を生かすことができるし、それができる時間であると考えられる。
 - ・ コメ作りに関しては、コメ作りをどう捉えるかで毎年できるのではないか。
 - ・ 他の学年を巻き込むのが大変なら地域の人を巻き込んでしまえば良いのではないか。
 - ・ 3・4年の扱い、2年計画で地域の人たちと相談して（年度末に活動の振り返り次への方針立てを行う）。

[家庭教育充実部会]

- インターネットメディアについて
 - ・ メディアコントロールについて、まつのやまいきいき週間の取組を通じて課題があることが分かっている。
 - ・ ICTの導入により、子どものタブレットの使い方が上手になっている反面、字を書くことが下手になっているなど、良い面と、悪い面がある。
 - ・ 中学生はスマホをほぼもっている。相当な時間 SNS を使っている。スマホは学習に使うことはあまりなく、YouTube などを見たりラインなどをしたりしているようだ。学校で指導するには限界があり、家庭で使用する時には、家庭のルールを決め管理をお願いしたい。
 - ・ 家の人にも危険性を知ってほしい。通信ゲームや SNS では、他地域や他県の人と繋がり、高校生になると実際に会おうという怖い話も聞く。まつのやま学園の児童生徒は交通手段がないから会いに行けないが。
 - ・ 学園の年間を通したメディアの決まりや、いきいき週間について取組プリントで内容を教えてほしい。
 - ・ 他校では SNS の学習の後、子ども同士が家でのメディアの決まりや様子を話し合う機会があり、自分の使用について見直すために有効だった。
 - ・ 保護者が学校で情報交換する時には、あらかじめ話したい内容を紙に書いて提出してもらったらどうだろうか。
 - ・ 子どもも親も SNS に関する情報共有が必要だと思われる。
- 今後の対策等
 - ・ 子どもも親も SNS に関する情報共有が必要だと思われる。
 - ・ 7月4日の講演会の後や、フリー参観日に保護者同士が子どもの様子や家庭のきまり、SNS についての危険性などを情報共有する機会を設けていく。
 - ・ 児童生徒のスマホの所有率や、使用時間等の現状を調査して地域保護者に伝え、それを基に対策を講じていく。

それぞれの部会の内容を共有した。

4 閉会のあいさつ（寺澤学園長）